



2022年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年8月5日

上場会社名 キッコーマン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2801 URL <https://www.kikkoman.com/jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 祥三郎
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 臼井 一起 TEL 03-5521-5811
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	123,739	22.8	14,303	42.1	14,335	23.0	16,076	29.3	11,599	30.5	11,404	22.4
2021年3月期第1四半期	100,757	—	10,066	—	11,654	—	12,433	—	8,887	—	9,313	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	60.45	—
2021年3月期第1四半期	46.30	—

(注) 1. 当社グループは2021年3月期からIFRSを適用しております。そのため、2021年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

2. 事業利益は、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除した段階利益です。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	439,334	318,801	313,240	71.3
2021年3月期	438,508	313,514	308,130	70.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	21.00	—	24.00	45.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	22.00	—	23.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	228,500	7.3	21,850	△0.5	21,450	△3.2	22,050	△3.2	15,240	△6.4	79.44
通期	462,800	5.3	43,400	1.8	41,800	0.3	42,900	△0.7	29,100	△6.6	151.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	193,883,202株	2021年3月期	193,883,202株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	2,097,771株	2021年3月期	1,911,533株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	191,900,157株	2021年3月期1Q	191,974,319株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

第1四半期決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における世界経済は、景気に持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により、依然として厳しい状況にありました。

そのような状況の中で、当社グループの売上は、国内については、しょうゆ、食品、酒類が堅調に推移し、飲料は前年同期に及ばなかったものの、食料品製造・販売事業全体で前年同期を上回りました。海外については、食料品製造・販売及び食料品卸売事業ともに好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

その結果、当第1四半期の連結業績は次の通りとなりました。

<連結業績>

(単位:百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第1四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
	2020年4月1日～ 2020年6月30日		2021年4月1日～ 2021年6月30日		金 額	%	売上 比差		金 額	%
	金 額	売上比	金 額	売上比						
売 上 収 益	100,757	100.0	123,739	100.0	22,982	122.8	—	3,855	19,127	119.0
事 業 利 益	10,066	10.0	14,303	11.6	4,237	142.1	1.6	528	3,708	136.8
営 業 利 益	11,654	11.6	14,335	11.6	2,680	123.0	0.0	481	2,199	118.9
税引前四半期利益	12,433	12.3	16,076	13.0	3,643	129.3	0.7	478	3,165	125.5
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	8,887	8.8	11,599	9.4	2,711	130.5	0.6	368	2,343	126.4
USD	107.74		110.00		2.26					
EUR	118.94		131.78		12.84					

<報告セグメント>

(単位:百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第1四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除		
	2020年4月1日～ 2020年6月30日		2021年4月1日～ 2021年6月30日		金 額	%	売上 比差		金 額	%	
	金 額	売上比	金 額	売上比							
国内 食料品製造 ・販売	売上収益	37,279	100.0	37,818	100.0	539	101.4	—	539	101.4	
	事業利益	3,182	8.5	3,239	8.6	57	101.8	0.1	57	101.8	
国内 その他	売上収益	5,190	100.0	5,253	100.0	63	101.2	—	63	101.2	
	事業利益	512	9.9	373	7.1	△139	72.9	△2.8	△139	72.9	
海外 食料品製造 ・販売	売上収益	24,030	100.0	28,500	100.0	4,470	118.6	—	1,164	3,305	113.8
	事業利益	5,005	20.8	6,287	22.1	1,281	125.6	1.3	274	1,007	120.1
海外 食料品卸売	売上収益	40,969	100.0	60,289	100.0	19,320	147.2	—	2,863	16,457	140.2
	事業利益	1,765	4.3	4,612	7.7	2,847	261.3	3.4	210	2,636	249.3
調整額	売上収益	△6,711	100.0	△8,122	100.0	△1,410	—	—	△172	△1,238	—
	事業利益	△400	—	△209	—	190	—	—	43	146	—
連 結	売上収益	100,757	100.0	123,739	100.0	22,982	122.8	—	3,855	19,127	119.0
	事業利益	10,066	10.0	14,303	11.6	4,237	142.1	1.6	528	3,708	136.8
USD	107.74		110.00		2.26						
EUR	118.94		131.78		12.84						

各事業別セグメントの業績の概要は次の通りであります。

【国内】

国内における売上の概要は次の通りであります。

(国内 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、つゆ・たれ・デルモンテ調味料等の食品部門、豆乳飲料・デルモンテ飲料等の飲料部門、みりん・ワイン等の酒類部門からなり、国内において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

しょうゆは、家庭用分野では、テレビ宣伝を中心とした商品の付加価値を伝えるマーケティング施策等を実施致しましたが、「いつでも新鮮」シリーズや「濃口しょうゆ」など主力商品が前年同期並みとなり、家庭用分野全体として前年同期を下回りました。加工・業務用分野は、前年の新型コロナウイルス感染症の影響から回復し、前年同期を上回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を上回りました。

■食品部門

つゆ類は、ストレートタイプつゆの「具麺」シリーズが好調に推移し、前年同期並みとなりました。たれ類は、加工・業務用分野が前年の新型コロナウイルス感染症の影響から回復し、前年同期並みとなりました。「うちのごはん」は、21年2月発売の新シリーズ「肉おかずの素」の売上が好調に推移し、前年同期を上回りました。デルモンテ調味料は、家庭用分野が苦戦したものの、加工・業務用分野が増加し、前年同期を上回りました。この結果、部門全体としては、前年同期の売上を上回りました。

■飲料部門

豆乳飲料は、健康志向の高まりを背景に需要が拡大し、飲用だけでなく料理素材として豆乳を使う消費者も増えております。しかしながら、主力商品である調製豆乳・無調整豆乳が当期は振るわず、前年同期の売上を下回りました。デルモンテ飲料は、果汁飲料が堅調に推移したものの、トマトジュース、野菜ジュースが振るわず、前年同期の売上を下回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を下回りました。

■酒類部門

本みりんは、家庭用分野では、高付加価値商品の「米麴こだわり仕込み本みりん」などが売上を伸ばし、加工・業務用分野でも大型容器が増加し、前年同期を上回りました。ワインは、加工・業務用分野が、前年の新型コロナウイルス感染症の影響から回復し、前年同期を上回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、国内 食料品製造・販売事業の売上収益は378億1千8百万円（前年同期比101.4%）、事業利益は32億3千9百万円（前年同期比101.8%）と、増収増益となりました。

(国内 その他事業)

当事業は、臨床診断薬・衛生検査薬・加工用酵素、ヒアルロン酸等の化成品等の製造・販売、不動産賃貸及び運送事業、グループ会社内への間接業務の提供等を行っております。

化成品等は、臨床診断薬・衛生検査薬が伸長し、前年同期の売上を上回りました。運送事業は前年同期を上回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を上回りました。

この結果、国内 その他事業の売上収益は52億5千3百万円（前年同期比101.2%）、事業利益は3億7千3百万円（前年同期比72.9%）と、増収減益となりました。

【海外】

海外における売上の概要は次の通りであります。

(海外 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、デルモンテ部門、海外における健康食品等のその他食料品部門からなり、海外において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

北米市場においては、家庭用を中心に主力商品であるしょうゆに加え、しょうゆをベースとした調味料などの拡充に引き続き力を入れており、当社のブランド力を活かした事業展開を行ってまいりました。この結果、前年同期の売上を上回りました。

欧州市場においては、主要市場であるドイツ、イタリアなどで売上を伸ばし、前年同期の売上を上回りました。

アジア・オセアニア市場においては、中国市場では前年の新型コロナウイルス感染症の影響から回復したことにより、前年同期の売上を上回りました。また、インドネシア・タイにおいても売上を伸ばし、全体として前年同期を上回りました。この結果、部門全体では前年同期の売上を上回りました。

■デルモンテ部門

当部門は、アジア・オセアニア地域で、フルーツ缶詰・コーン製品、トマトケチャップ等を製造・販売しております。中国事業は回復基調にあるものの、他の地域が低迷し、部門全体で前年同期の売上を下回りました。

■その他食料品部門

当部門は、主に北米地域において、健康食品を製造・販売しております。

部門全体では前年同期の売上を下回りました。

以上の結果、海外 食料品製造・販売事業の売上収益は285億円（前年同期比118.6%）、事業利益は62億8千7百万円（前年同期比125.6%）と、増収増益となりました。

(海外 食料品卸売事業)

当事業は、国内外において、東洋食品等を仕入れ、販売しております。

北米では、新型コロナウイルス感染症による規制が緩和され外食需要が回復してきていることから、前年同期を上回りました。また、欧州、アジア・オセアニアでも同様の理由により前年同期を上回りました。

この結果、卸売事業全体では、前年同期の売上を上回りました。

この結果、海外 食料品卸売事業の売上収益は602億8千9百万円（前年同期比147.2%）、事業利益は46億1千2百万円（前年同期比261.3%）と、増収増益となりました。

以上の結果、当第1四半期の連結業績は、売上収益は1,237億3千9百万円（前年同期比122.8%）、事業利益は143億3百万円（前年同期比142.1%）、営業利益は143億3千5百万円（前年同期比123.0%）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は115億9千9百万円（前年同期比130.5%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、1,901億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ22億3千6百万円減少いたしました。これは主に、棚卸資産が増加したものの、現金及び現金同等物、その他の金融資産（流動）が減少したことによるものであります。非流動資産は、2,492億2千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億6千1百万円増加いたしました。これは主に、その他の金融資産（非流動）が増加したことによるものであります。

この結果、資産は、4,393億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億2千5百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、685億1千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億7千8百万円減少いたしました。これは主に、営業債務及びその他の債務が減少したことによるものであります。非流動負債は、520億1千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億8千2百万円減少いたしました。これは主に、リース負債が増加したものの、繰延税金負債が減少したことによるものであります。

この結果、負債は、1,205億3千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ44億6千1百万円減少いたしました。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末における資本は、3,188億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億8千6百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は71.3%（前連結会計年度末は70.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2021年7月2日に開示した「2021年3月期決算短信」から変更はありません。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（2021年6月22日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	55,678	52,802
営業債権及びその他の債権	62,579	62,893
棚卸資産	63,085	65,190
その他の金融資産	5,598	3,316
その他の流動資産	5,403	5,908
流動資産合計	192,346	190,110
非流動資産		
有形固定資産	127,077	127,617
投資不動産	9,388	9,360
使用権資産	22,145	22,420
のれん	5,006	5,004
無形資産	5,075	5,038
持分法で会計処理されている投資	3,545	3,589
その他の金融資産	63,267	65,433
退職給付に係る資産	7,440	7,607
繰延税金資産	3,005	2,976
その他の非流動資産	209	175
非流動資産合計	246,162	249,224
資産合計	438,508	439,334

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	50,600	46,527
借入金	3,950	4,016
リース負債	4,967	5,086
未払法人所得税等	4,210	4,596
その他の金融負債	445	2,219
その他の流動負債	8,522	6,070
流動負債合計	72,696	68,517
非流動負債		
借入金	13,400	13,400
リース負債	19,346	19,487
繰延税金負債	8,529	7,993
退職給付に係る負債	5,047	5,066
その他の金融負債	4,067	4,162
その他の非流動負債	1,906	1,903
非流動負債合計	52,297	52,015
負債合計	124,993	120,532
資本		
資本金	11,599	11,599
資本剰余金	13,695	13,696
利益剰余金	267,073	274,061
自己株式	△3,658	△4,966
その他の資本の構成要素	19,420	18,850
親会社の所有者に帰属する持分合計	308,130	313,240
非支配持分	5,384	5,561
資本合計	313,514	318,801
負債及び資本合計	438,508	439,334

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上収益	100,757	123,739
売上原価	64,237	78,959
売上総利益	36,519	44,780
販売費及び一般管理費	26,453	30,476
事業利益	10,066	14,303
その他の収益	2,467	944
その他の費用	879	912
営業利益	11,654	14,335
金融収益	1,173	2,023
金融費用	415	352
持分法による投資利益	20	70
税引前四半期利益	12,433	16,076
法人所得税費用	3,430	4,320
四半期利益	9,002	11,755
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	8,887	11,599
非支配持分	114	156
四半期利益	9,002	11,755
基本的1株当たり四半期利益 (円)	46.30	60.45

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益	9,002	11,755
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	1,288	△989
確定給付制度の再測定	△26	—
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	19	3
純損益に振り替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	△947	638
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△23	△4
税引後その他の包括利益	311	△351
四半期包括利益	9,313	11,404
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	9,371	11,026
非支配持分	△57	378

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2020年4月1日残高	11,599	13,695	240,646	△3,641	△5,453	0
四半期利益			8,887			
その他の包括利益					△774	△23
四半期包括利益	—	—	8,887	—	△774	△23
自己株式の取得				△1		
自己株式の処分		0		0		
配当金			△4,032			
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△38			
非金融資産等への振替						30
その他の増減						
所有者との取引額等合計	—	0	△4,070	△1	—	30
2020年6月30日残高	11,599	13,695	245,463	△3,643	△6,228	7

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	確定給付制度の再測定	合計			
2020年4月1日残高	15,411	—	9,958	272,258	5,285	277,543
四半期利益			—	8,887	114	9,002
その他の包括利益	1,319	△38	483	483	△172	311
四半期包括利益	1,319	△38	483	9,371	△57	9,313
自己株式の取得			—	△1		△1
自己株式の処分			—	0		0
配当金			—	△4,032	△181	△4,214
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		38	38	—		—
非金融資産等への振替			30	30		30
その他の増減			—	—	△0	△0
所有者との取引額等合計	—	38	68	△4,003	△181	△4,185
2020年6月30日残高	16,731	—	10,510	277,626	5,045	282,671

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2021年4月1日残高	11,599	13,695	267,073	△3,658	2,308	23
四半期利益			11,599			
その他の包括利益					417	△4
四半期包括利益	—	—	11,599	—	417	△4
自己株式の取得				△1,307		
自己株式の処分		0		0		
配当金			△4,608			
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△3			
所有者との取引額等合計	—	0	△4,612	△1,307	—	—
2021年6月30日残高	11,599	13,696	274,061	△4,966	2,725	18

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	確定給付制度の再測定	合計	合計		
2021年4月1日残高	17,088	—	19,420	308,130	5,384	313,514
四半期利益			—	11,599	156	11,755
その他の包括利益	△982	△3	△573	△573	221	△351
四半期包括利益	△982	△3	△573	11,026	378	11,404
自己株式の取得			—	△1,307		△1,307
自己株式の処分			—	0		0
配当金			—	△4,608	△201	△4,810
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		3	3	—		—
所有者との取引額等合計	—	3	3	△5,915	△201	△6,117
2021年6月30日残高	16,106	—	18,850	313,240	5,561	318,801

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。報告セグメントの決定にあたっては事業セグメントの集約を行っていません。

当社は、持株会社として主に、グループ戦略の立案、事業会社の統括管理を行っており、その下で、国内は事業会社を食料品の製造及び販売を主とする事業とそれ以外に区分し、海外は持株会社の海外管理部門が事業会社を食料品製造・販売事業と東洋食品の卸売を行う事業に区分し管理しております。

したがって、当社グループは、国内、海外の地域と事業の種類が複合された報告セグメントから構成されており、「国内 食料品製造・販売事業」、「国内 その他事業」、「海外 食料品製造・販売事業」及び「海外 食料品卸売事業」の4つを報告セグメントとしております。

「国内 食料品製造・販売事業」は、国内においてしょうゆ・食品・飲料・酒類の製造・販売を行っており、「国内 その他事業」は、医薬品・化成品等の製造・販売、不動産賃貸、運送事業及び間接業務の提供等を行っております。「海外 食料品製造・販売事業」は、海外においてしょうゆ・デルモンテ製品・健康食品の製造・販売を行い、また、海外向けの輸出販売を行っております。「海外 食料品卸売事業」は、国内外において、東洋食品等を仕入れ、販売しております。

(2) 報告セグメントに関する情報

報告セグメントの利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除した金額である事業利益を使用しております。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報は以下の通りです。

前第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	連結
	国内食料品 製造・販売	国内 その他	海外食料品 製造・販売	海外食料品 卸売	計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	36,623	1,785	21,508	40,840	100,757	—	100,757
セグメント間の売上収益	656	3,404	2,521	129	6,711	△6,711	—
合計	37,279	5,190	24,030	40,969	107,468	△6,711	100,757
セグメント利益	3,182	512	5,005	1,765	10,466	△400	10,066
その他の収益	—	—	—	—	—	—	2,467
その他の費用	—	—	—	—	—	—	879
金融収益	—	—	—	—	—	—	1,173
金融費用	—	—	—	—	—	—	415
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	20
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	12,433

(注) セグメント利益の調整額は、主として全社費用配賦差額であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	連結
	国内食料品 製造・販売	国内 その他	海外食料品 製造・販売	海外食料品 卸売	計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	37,074	1,813	24,659	60,192	123,739	—	123,739
セグメント間の売上収 益	744	3,439	3,840	97	8,122	△8,122	—
合計	37,818	5,253	28,500	60,289	131,862	△8,122	123,739
セグメント利益	3,239	373	6,287	4,612	14,513	△209	14,303
その他の収益	—	—	—	—	—	—	944
その他の費用	—	—	—	—	—	—	912
金融収益	—	—	—	—	—	—	2,023
金融費用	—	—	—	—	—	—	352
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	70
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	16,076

(注) セグメント利益の調整額は、主として全社費用配賦差額であります。